

まちづくり講座

わたしプロデュース いとしまライフ塾 受講生募集

市の審議会や地域の活動などに、あなた自身が参画し、活動・活躍をしてみませんか。

市の未来づくりに一役買いたいという人たちのステップアップを目的とした講座を開催します。

日時 12月2・9日、1月13・20・27日
(毎週木曜日・全5回)

10時30分から12時30分まで

対象 なるべく全回参加できる女性

講師 九州大学教授など

定員 10人(先着順)

受講料 無料

託児 無料

※申し込みが必要です。

※託児は、6か月から就学前までが対象となります。

会場 男女共同参画センターラポール

申込方法 電話、またはFAX、メールで11月25日(木)までに申し込み

申し込み・問い合わせ

男女共同参画センターラポール
☎(324)2800

Eメール raporu@city.itoshima.lg.jp



「デートDV」って聞いたことありますか
からの暴力のことです。

中学生・高校生・大学生・未婚のカップル間でもDVは起こっており、深刻な社会問題となっています。
デートDVも、DV同様「相手自分の思い通りにしたい」という考えが根底にあります。
相談してください
DVは特別なことではなく、女性の3人に1人が配偶者などからの暴力を受けています。しかし、女性への暴力は身近な人との間で起きるため、SOSを出せないのが

現状です。「これってDVかしら」と少しでも思ったら、まずは相談してください。
市役所では、専門の女性相談員がお話をお伺いし、一緒に考えていきます。
11月12日から25日まで女性に対する暴力をなくす運動
この期間「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせて、ラポールではDVに関する情報を中心としたパネル展を開催します。



また、DVの加害者が暴力という手段を、意図的に選択しているということも決して見逃してはなりません。

別表 ■ 相談先一覧

| 相談先 | 受付時間 | 連絡先 |
|-------------------|------------------------------|------------|
| 糸島市人権政策課男女共同参画推進係 | 9:00~17:00(月曜日~金曜日) | ☎(322)2845 |
| 女性の心理カウンセリング(要予約) | 10:00~16:00(毎週木曜) | ☎(332)2075 |
| 福岡県糸島保健福祉事務所 | 8:30~17:15(月曜日~金曜日) | ☎(323)0061 |
| 福岡県配偶者からの暴力相談電話 | 平日17:15~24:00、土日祝日9:00~24:00 | ☎(716)0424 |
| 糸島警察署(生活安全課) | 緊急時・夜間可 | ☎(323)0110 |

※糸島警察署以外は年末年始は休みます。

さんかく情報局

~DVは犯罪です~

vol.11

11月12日(金)から25日(木)までは「女性に対する暴力をなくす運動」の推進週間です。

DVでお悩みの方はご相談ください。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

人権コラム

行政区研修をとおしてたいせつにしたい視点
社会人権・同和教育指導員
吉原雅弘

児童虐待の対応件数 過去最悪

最近、報道などでは児童や高齢者の虐待、凶悪犯罪などの痛ましい事件が発生し、大きな社会問題となつていきます。

特に、児童虐待は平成2年度から19年連続で増え続け、昨年度、全国の児童相談所の対応件数は4万4000件を超え、過去最悪という深刻な状況が続いています。

子どもの人権を 校区の共通テーマに

雷山校区では「子どもの人権」をテーマにしたビデオを活用し、各行政区ごとに次のような研修会を開催しています。

- ①児童虐待についての現状と課題について
- ②虐待とつけのの違い



- ③虐待を発見したらどう対応するか
- ④地域で何が出来るか

この4点を中心意見交流を行っています。参加者からは「虐待に対する正しい理解と適切な対応について認識を深めることができた」「他人事と思っていたが、身近にあることを学んだ」「今後、地域で生かしたい」「子育て世代に参加させるべき」という意見が出されました。

地域に広げよう 子育て支援の輪

かつては家族ぐるみ、地域での見守りの中で、子育てが行われていました。

しかし近年では、隣近所の付き合いもだんだんと希薄になり、大家族が減つて、親と子どもだけの核家族が多くなつていきます。

この核家族世代の親が、地域社会から孤立してさまざまなストレスを抱え込み、そのはけ口として子どもへの虐待に走るケースが少なくありません。

地域住民とともに つくり上げる研修へ

激動の世紀と呼ばれた20世紀。人々の生活に快適さと豊かさをもたらした、物質的にはとても豊かになりました。しかし一方で、内面的な豊かさが見過されてきたといえます。

時代の移り変わりが激しく、人権を取り巻く情勢も大きく変化し、新たな人権問題も出てきました。

これら人権問題について認識を深めるためにも、地域住民が参加する行政区研修をとおして、地域全体で人権意識を高め、行政区が一体となつて考えることが、人権問題を身近に理解するためには効果的だといえます。

行政区研修の姿とは、地域住民とともにつくり上げていく研修ではないでしょうか。

